

**AZ-COM丸和ホールディングスとジオテクノロジーズが協業
トラック運送事業者の99%を対象とした
物流DXソリューションを共同開発
～2024年問題への対策や脱炭素配送の実現を支援～**

AZ-COM丸和ホールディングス株式会社（以下、「AZ-COM丸和グループ」という）とジオテクノロジーズ株式会社（以下、「ジオテクノロジーズ」という）は、2024年問題への対策や脱炭素配送等に向けた物流DXソリューションの開発に関するアライアンスを締結いたしましたので、お知らせいたします。



左) ジオテクノロジーズ株式会社 代表取締役社長 CEO：杉原博茂氏
右) AZ-COM丸和ホールディングス株式会社 代表取締役社長：和佐見勝

【背景】トラック運送業界の課題

トラック運送業界は、人口減少等による人手不足、配送の小口化・多頻度化による輸送効率の悪化により業界全体として業務が逼迫しています。さらに「2024年問題」と呼ばれる、働き方改革関連法の「ドライバー職の時間外労働時間の上限規制」等の適用が2024年4月に迫る中、とりわけトラックドライバー不足に拍車がかかる状況です。

また、燃料費の高騰が業界各社の経営に影響を与える中、燃料消費を抑える効率輸送、更には脱炭素配送への取り組みも強化する必要があります。

トラック運送業界の事業者の99%は中小の運送会社であり、個別の会社単位で有効な手立てを講じることは容易なことではありません。

【業務提携の目的】人手不足対策、脱炭素配送に向けた物流DXソリューション開発

AZ-COM丸和グループは、国内サードパーティ・ロジスティクス(3PL)事業に強みを有する企業であり、「一般社団法人AZ-COM丸和・支援ネットワーク(以下、「AZ-COMネット」という)」というトラック運送事業者等の会員制ネットワークを創設した3PLのリーディングカンパニーです。AZ-COMネットは全国規模で約1,800社の会員ネットワークを持ち、様々な支援メニューにより経営改善や配車担当者・ドライバー向け教育をはじめ、物流業界の課題に対して企業単位で対処する具体的な対策等を提供しています。

一方、ジオテクノロジーズは、地図のメジャーカンパニーとして、創業当時からカーナビ用のデジタル地図、自動運転用の高精度地図の開発を手掛け、現在では高品質な地図をベースにした「トリマ」や「MapFan」ブランドといった個人/法人向けの位置情報ソリューションサービスを提供しています。

AZ-COM丸和グループのトラック運送のノウハウと、ジオテクノロジーズの位置情報ソリューションの開発ノウハウを掛け合わせ、両社はトラック運送業界が抱える働き方改革や人手不足への対策、効率輸送による燃料消費の改善と脱炭素配送などの課題解決を目的とした物流DXソリューションの創出に着手いたします。

【具体的な取組み】中小運送会社向け位置情報プラットフォーム開発・サービス展開

多くの課題を抱える中で、トラック運送業界の99%を占める中小の運送会社は、そのほとんどが業務を効率化するための物流システムを導入できていない状況です。理由のひとつとして、システムの導入には専用端末の購入など、多額の初期投資がかかることに加え、利用者教育などシステム利用の定着・導入効果にも時間がかかることが挙げられます。

今回両社で目指すのは、運送業界に向けた導入しやすい利用価格設定かつ、専用機器を不要とする位置情報プラットフォームの開発です。スマートフォン端末でドライバーの配送業務を支援、PC端末を用意するだけで運行管理者の業務の一元管理を可能にします。導入現場の利用者が直観的に操作できることを第一に、さらに短期間で導入効果を上げるために、AZ-COM丸和グループでの利用試験・導入を経て、2023年1月にAZ-COMネットの会員パートナー企業など全国へ展開していく予定です。

■ ジオテクノロジーズ株式会社について

1994年にカーナビ用のデジタル地図事業をスタート、カーナビや法人向け地図データ・位置情報ソリューションの提供のほか、「トリマ」や「MapFan」ブランドによる個人/法人向け地図サービスを提供し、直近では高度な自動運転の実現に不可欠な高精度地図の提供も行うなど、地図のメジャーカンパニーとして日本の地図業界を牽引しています。

ジオテクノロジーズは、現実世界の膨大な変化点をスピーディに収集、抽出、更新する独自の地図制作技術やノウハウを駆使して、高鮮度・高精度・高品質な地図の提供を実現するとともに、その地図を中心として位置情報/人流データをはじめとする多様かつ膨大なビッグデータと、地球（Geo）に関わる様々なデータに最先端技術を融合させることにより、予測（Prediction）可能“Geo-Prediction（ジオプリディクション）”な世界を生み出し、メタバースのリーディングカンパニーとして地球を取り巻くさまざまな社会課題の解決に貢献していきます。

■ AZ-COM丸和ホールディングス株式会社（旧：株式会社丸和運輸機関）について

株式会社丸和運輸機関が会社分割方式により純粋持株会社体制に移行し、2022年10月1日付でAZ-COM丸和ホールディングス株式会社を設立しました。

AZ-COM丸和ホールディングスグループは1970年の創業以来、輸配送サービスブランド「桃太郎便」を展開し、物流事業者として人々の日常生活を支えてきました。現在は小売業に特化した3PL（サードパーティ・ロジスティクス）事業者として「EC物流」「低温食品物流」「医薬・医療物流」をコアと位置付け、加えてSDGsの取り組みの一環として「BCP物流」を強化しています。

これからも環境変化に強い社会インフラとしての物流基盤の構築に継続的に取り組むと共に、持続的な成長を実現していきます。